

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[1] 健康教育・健康相談

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
健康相談事業	保険健康課	304回		充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、ひいては個々の健康管理に資するものである。							
<b>平成22年度実績</b>							
1)まちの健康相談室 実施回数(会場):48回(市役所・保健センター・公民館等) 内容:健康に関する相談・健診結果の説明・血圧測定・体重測定・検尿(必要時) 参加者:延べ291人							決算額
							236千円
							実績値
							243回
2)その他の健康相談 歯周疾患健康相談・病態別健康相談・市民健康相談等 実施回数:195回 参加者:延べ2,375人							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
まちの健康相談室は、宇和島・吉田・三間・津島地区、毎月1回月曜日として定着化を図り、1回あたりの来所者数は増加した。高齢化、固定化はあるものの夫婦で来所されるなど、ライフスタイルに応じた利用がなされている。昨年度に引き続き、がん検診や市民が集まる機会に市民健康相談を実施した。待ち時間等を活用できるため、時間的なゆとりの中で健康への意識付けができた。健診後の健診結果説明会は健康に関する問題意識をもったの参加が多く、効果的であった。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
効果的な健康相談の実施 ・「まちの健康相談室」の内容の見直し。尿検査や体脂肪測定等を行う。 ・各地区の状況に応じた「まちの健康相談室」や「市民健康相談」を実施する。 相談の機会を増やす ・がん検診時の健康相談を支所でも実施する。 ・人の多く集まる機会を利用して健康相談を実施する。 ・定例の健康相談以外に、来庁、電話等による相談ができることを市民に周知する。 ・市民のニーズに合った健康相談を実施する。(出前健康相談)							予算額
							256千円
							目標値
							200回

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[1] 健康教育・健康相談

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
健康教育事業	保険健康課	273回		充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資する。							
<b>平成22年度実績</b>							
	回数	参加延人数					決算額
合計	271	10,613					<b>724千円</b>
1) 教育内容							実績値
・メタボリックシンドロームなどの生活習慣病予防 ・がん予防 ・メンタルヘルス ・歯周疾患予防 ・骨粗鬆症予防							<b>271回</b>
2) 啓発活動							進捗状況
・「出前講座」の実施 ・広報「健康づくり通信」掲載 ・健康づくりロビー展の実施 ・ウォーキングマップの作成							<b>4</b>
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>・市内のウォーキングマップを各地区1か所ずつ作成した。マップの作成中も、市民が歩いている姿が見られた。マップを今後どのように活用していくかが課題であると考え。</p> <p>・出前講座は、新規メニューの「心のリフレッシュ講座」が多く希望が上がった。病態からメンタルヘルスまで、複数メニューを設けることで市民のニーズに合わせる事ができた。</p> <p>・各種団体や地区組織からの依頼による健康教育は、団体の目的に合わせて教育内容を検討し、パンフレットを手作りするなど、わかりやすい教室となるよう工夫した。さらに、地区分析に基づき健康教育をした校区があり、地区担当の保健師が中心となって企画・実施できた。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							<b>4</b>
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							<b>5</b>
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							<b>5</b>
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							<b>5</b>
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							<b>5</b>
<b>平成23年度予定</b>							
<p>・特定健診や健診結果説明会の後に継続参加できるように実施日を設定する。</p> <p>・作成したウォーキングマップを活用し、地区組織と連携して、新たなマップの作成</p>							予算額
							<b>757千円</b>
							目標値
							<b>280回</b>

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
特定保健指導の推進	保険健康課	53.8%	45%	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>内臓脂肪型肥満に着目した特定健診の結果から、階層化を行い、生活習慣改善の必要性に応じて「情報提供」、「動機付け支援」、「積極的支援」に分け、特定保健指導を行うものである。</p> <p>特定保健指導は内臓脂肪型肥満の要因となっている生活習慣病を改善することを目的に、「動機付け支援」、「積極的支援」の対象者と共に、自らの生活習慣を振り返り、生活改善目標を設定し、実践(行動)に取り組むことができるよう、またセルフケア(自己管理)ができるよう支援するものである。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<b>特定保健指導</b> 動機付け支援 対象者 436名 初回面接実施者 229名 実施率 52.5% 積極的支援 対象者 245名 初回面接実施者 114名 実施率 46.5%							決算額
							327千円
<b>特定保健指導受診者の改善状況(積極的支援から動機付け支援、動機付け支援から対象外になったもの)</b> 平成22年度特定保健指導受診者 積極的支援 改善者 44人(51.1%) 動機付け支援 改善者 57人(22.3%)							実績値
							51.1%
							進捗状況
							5
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>初回面接の利用率は50.4%と昨年度の58.5%より低下した。</p> <p>40歳代の特定保健指導出現率は他の年代と比べやや高く、利用しやすくするために電話勧奨や面接時間の優遇、日曜日の設定等により、働いている人でも受けやすい環境をとっている。</p> <p>市独自の指導用冊子として新たに栄養版を作成したことで、利用者が保健指導後も振り返り、目標の継続に活用してもらうことができた。</p> <p>特定保健指導の利用者の改善状況では、動機付け支援よりも、支援回数の多い、積極的支援の方が改善率が高く、状態の悪化や進行予防に特定保健指導の効果が見られた。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成23年度予定</b>							
<b>特定保健指導対象者に対して利用勧奨のリーフレットを送付する。</b> 参加しやすいよう日曜日の設定を継続する。 ヘルスアップ教室、まちの健康相談室のチラシを配布し、勧奨し、継続して支援できるようにする。 野菜のフードモデルを購入し、適正量を分かりやすくする。							予算額
							820千円
							目標値
							45.0%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)				
健康教育事業(ヘルスアップ実践講座)	保険健康課	19回		充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
体験型健康教育を通して、生活習慣病の発症や重症化予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、健康づくりの意識付けと定着化を図る							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>知っ得！血圧こうか講座 参加者：延べ24人 開催回数：4回            内容：「自分の血圧を振り返る、塩分を減らすコツを考える、食事バランスガイド、主食・主菜・副菜の量を知る」</p> <p>コレステラすっきり教室 参加者：53人 開催回数：4回            内容：「脂質異常症、LDLとは？、食事とコレステロールの関係」</p> <p>栄養教室 総集編 参加者：延べ23人 開催回数：2回            内容：調理実習、食事バランスガイド</p> <p>ヘルシーウォーキング 参加者：延べ118人 開催回数：11回            内容：「正しいウォーキングの実践、ストレッチ、自宅のできる筋トレ」</p> <p>筋トレ体験講座 参加者：延べ18人 開催回数：2回            内容：「筋力チェック、自宅のできる筋トレ」</p>							決算額
							70千円
							実績値
							19回
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p><b>【栄養編】</b>            ・日曜開催日の新設により、男性の参加が増えた。            ・アンケートからは、参加された方には満足のいく内容であった。しかし、参加者が少ない。周知方法はいろいろと工夫しているが、今後よりニーズに対応した内容で参加しやすい教室を設定していく必要がある。</p> <p><b>【運動編】</b>            ・自宅のできる筋トレの実践を取り入れた。筋肉の動きや、腰やひざなどを傷めないような筋トレの方法を細かく説明しているため、参加者からも好評で、休憩時間などにも動きの確認している姿が見られた。            ・筋トレ体験教室では、体力測定を取り入れて、自分自身の体力年齢を評価に興味を引き好評だった。有酸素運動と筋力アップを組み合わせた内容が、家でも取り組みやすいと感じた。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成23年度予定</b>							
<p>・食事バランスガイドや、手ばかりを活用し、野菜の適正量や摂取量増加のための教室開催をする。            ・宇和島地区は、運動編と栄養編を隔月の日曜日開催とし、特定健診や結果説明会の後に継続参加できるように設定する。</p>							予算額
							80千円
							目標値
							20回

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)	27回		充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
<b>平成22年度実績</b>							
実施回数 45回。(夜間糖尿病教室4回、調理実習11回含む。) 延べ参加者数664名(入院患者63名、外来患者601名)							決算額
							-
							実績値
							45回
							進捗状況
							5
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は随時院内放送も実施していることから患者・市民に広く浸透し、糖尿病予防に対する意識啓発が図れた。 毎回、参加者の血糖値を測定するとともに、糖尿病またはその予備群の患者を中心として病態の把握や自己管理指導を行った。 糖尿病または糖尿病が原因となって引き起こす疾病についての基礎知識や治療法について、内科医が講義を行うほか、食事、運動、薬物などによる療法に関して、栄養士、理学療法士、薬剤師など各専門分野から糖尿病療養指導士のスタッフが指導を行うことにより、日常的な実践につながる情報を提供した。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成23年度予定</b>							
今後も定期的に実施。 患者会(パール会)活動を通して、世界糖尿病デー(11/14)のイベントも実施予定。							予算額
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)	12回		充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
<p>入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防に繋げるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行う。</p>								
<b>平成22年度実績</b>								
実施回数12回 延べ参加者数 201名(入院患者18名、外来患者183名)							決算額	
							実績値	12回
							進捗状況	5
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<p>定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は院内放送も実施していることから患者・市民に広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発が図れた。</p> <p>重篤な心臓病を引き起こす要因となる高血圧や不整脈に関する基礎知識、心臓病を発病した場合の治療法など、毎回テーマに沿って、循環器内科医師または薬剤師による講義を実施するとともに、病態に応じた、または、予防のための食事療法について栄養士が指導を行うことで、日常的な実践に繋がる情報を提供した。</p>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
<b>平成23年度予定</b>								
月1回実施予定。							予算額	
							目標値	月1回

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[3] 壮年期からの健康づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値 (H21)	目標値 (H24)	充実	継続	新規	
健康相談事業	保険健康課			充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>(心の健康相談)</p> <p>心の健康に関する個別の相談に対し、相談窓口の周知を行い、必要な助言及び情報提供等を行うことにより、個々の持つ悩み等を軽減していくよう支援することを目的として実施するものである。</p> <p>相談内容には、受療にあたっての相談や社会復帰のための相談等も含まれ、年6回精神科スタッフの協力を得て、個々のケースに対応している。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>&lt;実施場所&gt; 宇和島市障害者福祉センター むつみ荘</p> <p>&lt;日程・スタッフ&gt; 毎月第1水曜日;年12回 予約制 保健師 *偶数月午後のみ精神科スタッフ従事</p> <p>&lt;利用者状況&gt; 実人員 8人 延人員 14人</p> <p>&lt;相談内容内訳&gt; 精神疾患(疑い含む):2人 うつ病:2人 不眠:1人 アルコール:1人 不登校:1人 ひきこもり:1人</p> <p>&lt;年齢区分内訳&gt; 10代:3人 20代:1人 30代:1人 40代:1人 60代:1人 70代:1人</p>							決算額
							81千円
							実績値
							年12回 (14人)
							進捗状況
							3
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>・相談区分では、若い世代のひきこもりや自殺関連が増加している。相談本人の年齢は約半数が10～20歳代で、不登校やひきこもり、自殺企図などの相談に、母親が来所するケースが多かった。今後は、母子保健や思春期保健事業と連携した自殺予防対策が必要である。</p> <p>・専門医受診を勧められても「敷居が高い」と受診を拒むケースもあり、早期受診・治療の重要性についての啓発が必要である。特に、精神科より心療内科の方が受診しやすいとの声もあり、近隣の医療機関に関する情報収集とタイムリーな情報提供が必要と思われる。</p> <p>・医療が必要なケースでは、スムーズに受診できるよう病院や家族調整するとともに、受診拒否の場合も医師相談を活用しながら継続的に支援し、受診に繋ぐことができた。家族の力だけでは進展困難なケースも、相談事業を契機としてスタッフの計画的な訪問や関係諸機関と連携した関わりを持つなど、ケースの状態に合わせた柔軟なアプローチが効果的だった。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成23年度予定</b>							
<p>自殺対策緊急強化事業により、地域における心の健康づくり・うつ・自殺予防対策の強化を図る。</p> <p>1)対面型相談支援事業の実施・・・場所を市役所に変更し、速やかに問題解決のための各種相談窓口につなぐ。</p> <p>2)相談者への情報提供・・・専門医療機関、治療に関する情報や本人・家族でできる具体的な対処方法など</p> <p>3)人材養成事業の実施・・・相談窓口担当者や保健師スキルアップ研修会により、相談対応能力の向上を図る。</p> <p>4)相談窓口の周知強化・・・周知用パンフレット各種相談窓口に設置する。(要フォロー者への配布を依頼)</p> <p>相談窓口一覧を明記した心の健康づくりダイジェスト版を作成し全戸配布する。</p>							予算額
							2,015千円
							目標値
							年12回

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[4] 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
心の健康づくり教育事業	保険健康課			充実		継続	新規

**事業の概要**

広く市民に心の健康づくりに関する正しい知識の普及を図ることにより、心の病気の予防と心の健康増進に資することを目的として実施するものである。  
 内容には、心の健康づくり健康教育(年間計画に基づき、各地区で健康教育を実施) 出前講座(公民館を介した依頼による講座) 心の健康づくりパネル展・広報掲載(広く市民への情報提供・こころの健康について啓発) 精神障害者当事者、家族対象(福祉課主催の精神保健福祉活動への協力) 等がある。

**平成22年度実績**

地区	開催回数	延人数	年齢別内訳			対象者	内容
			～39歳	40～64歳	65歳以上		
宇和島	9	205	9	98	98	漁協婦人部、食生活改善推進協議会、婦人会、学校保健委員会、養護教諭、一般住民	更年期講座、心のリフレッシュ、睡眠と生活習慣病、うつ病について
吉田	6	64	38	2	24	母子愛育会 老人クラブ	家族みんなのメンタルヘルス お疲れ解消いきいき講座
三間	5	49	0	25	24	食生活改善推進協議会、チュリッポの会、一般住民	更年期講座、メンタルヘルス、心の健康について
津島	8	220	2	130	88	漁協婦人部、食生活改善推進協議会、生活学級、体操グループ、男性の料理教室会員、高齢者学級、一般住民	心の健康づくり、心のリフレッシュ、お疲れ解消講座
計	28	538	49	255	234		

決算額

69千円

実績値

28回(538人)

進捗状況

4

**事業に対する評価・課題等**

・地域へ外向き住民の身近な場所で健康教育を実施することにより、知識普及・浸透を図ることができた。内容は、心とからだの健康づくりやうつ予防が中心だったが、今後は自殺者の増加などの現状から、自殺予防の視点から内容を再検討していく必要がある。  
 ・参加者は女性が主であり、心の健康課題を抱える男性との接点が少ない。周知範囲を広げたり、関係機関と連携し職域や男性団体に働きかけていく必要がある。また、できるだけ低年齢の頃から心とからだ・命に関する教育について、学校その他と連携し実施していくことが重要と思われる。  
 ・出前講座では「心のリフレッシュ講座」の依頼が最も多く、年代に関わらず心の健康への住民の関心の高さが伺えた。笑顔の効用など楽しみながらの体験や「お疲れ解消」などの内容を盛り込むことにより、講座の充実を図ることができた。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

**平成23年度予定**

自殺対策緊急強化事業により、地域における心の健康づくり・うつ・自殺予防対策の強化を図る。  
 1) 広く市民に自殺予防に関する正しい知識を普及し、心の病気の発症と重症化予防と心の健康づくりへの意識向上を図る。  
 心の健康づくり講演会(年1回 専門医による講演)  
 一般市民向け普及啓発用パンフレットの作成、全戸配布  
 2) 地域に外向いた教育により知識の普及・浸透を図る。  
 新たな関係団体との連携(男性の料理教室への参画)  
 市民が集まる場で視聴覚教材(DVD)を活用した健康教育や資料配布  
 学校(養護教諭等)と連携した心の健康づくり教育の充実 ひとり暮らしサポート講座テキスト配布(高校3年)  
 3) こころの健康づくりに関する情報提供を充実する。  
 子どもの時期からのストレス、うつ予防の普及啓発(3歳児健診時パンフレット配布)  
 健康づくりパネル展・・・吉田、津島支所、高校文化祭等

予算額

2,015千円

目標値

-

**平成22年度実績の進捗状況**

かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

**男女共同参画の視点での評価**

十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-



<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[4] 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
健康教育事業	保険健康課						

**事業の概要**

**(ヘルスアップ実践事業)**

体験型健康教育を通して、生活習慣病の発症や重症化予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、健康づくりの意識付けと定着化を図る。平成21年度までは、男性限定の健康教育を実施したが、参加者が少ないこと、夫婦での参加が増加したことから、事業の見直しを行った。平日開催していた事業の一部を、日曜にすることで男性の参加の増加を狙う。

**平成22年度実績**

**<ヘルスアップ実践講座 : 再掲>**

	回数	人数	性別(再掲)		男性の参加率	決算額
			男	女		70千円
						実績値
栄養編	11	100	41	59	41%	30.1%
運動編	13	136	26	110	19.1%	進捗状況
						4

**事業に対する評価・課題等**

・宇和島地区では、男性も参加しやすいようにすべての日程で日曜開催とした。特に、栄養編での男性の参加が増え、参加者の41%が男性であった。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

**平成23年度予定**

・宇和島地区は、運動編と栄養編を隔月の日曜日開催とし、特定健診や結果説明会の後に継続参加できるように設定する。	予算額
	80千円
	目標値
	25回

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
健康教育事業	保険健康課	3回		充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>(楽らく卒煙講座)  グループワークを中心に、生活習慣病の発症や重症化予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、特に禁煙の意識づけと定着化を図ることを目的とする。</p> <p>今年度は、出前講座のメニューとして、公民館等で募集した。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
・実施なし。							決算額
							0千円
							実績値
							0回
							進捗状況
2							
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>・職域や地域の仲間で取り組めるよう、出前講座のメニューとして募集したが、希望がなかった。周知方法を検討する。</p> <p>・若い世代の禁煙を勧めるため、母子健康手帳発行時などで喫煙中の保護者へ禁煙に関するパンフレットを配布するなどし、母子保健事業での禁煙の取り組みが重要であると考える。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成23年度予定</b>							
<p>・「楽らく卒煙講座」・・・職域や地域の仲間で取り込めるよう、周知する。</p> <p>・個別的な卒煙指導の実施(禁煙を決意した日から開始できる体制づくり)</p>							予算額
							0千円
							目標値
1回							

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	83%	100%	充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
<p>喫煙、飲酒の健康被害について正確な情報を提供する。  薬物乱用防止教室の実施と学校・家庭・地域の連携を図って予防に努める。  「心身ともに健康な子」の育成。</p>								
<b>平成22年度実績</b>								
<p>学校薬剤師を招き、薬物乱用防止教室を実施した。  喫煙や飲酒について、いろいろな機会をとらえて指導した。  校舎敷地内喫煙禁止の徹底を図った。</p>								決算額
								実績値
								85%
								進捗状況
4								
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<p>児童は、喫煙、飲酒の健康被害について知ることができたが、継続して行うことが大切である。  飲酒・喫煙・シンナーの吸引が成長を妨げる理解が深まった。  家庭での受動喫煙について、保護者の理解を深められない。  正しい知識の定着につながっている。  まだまだ不十分である。</p>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
<b>平成23年度予定</b>								
<p>喫煙、飲酒の健康被害を学ぶ教室を、継続して行うことが大切である。  保護者へ、受動喫煙防止について呼びかけを行う。  学校薬剤師を招き、薬物乱用防止教室を実施。  喫煙、飲酒の健康被害について「保健」「特別活動」に位置づけ授業で指導する。</p>								予算額
								目標値
								100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課	15館	30館	充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
不特定多数の住民が利用する公民館において、受動喫煙防止対策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を目指す。								
<b>平成22年度実績</b>								
11館増え、合計26館。								決算額
								0千円
								実績値
								26館
								進捗状況
								4
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
市が管理している公民館は、市の方針として実施できるが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
<b>平成23年度予定</b>								
4館増やし、目標の30館。								予算額
								0千円
								目標値
								30館

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
敷地内禁煙の実施(施設内禁煙からの充実)	病院局	2施設	2施設	充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
<p>受動喫煙の防止対策を図るため、施設内の禁煙だけでなく、敷地内における全面禁煙を目指すもの。平成20年10月に宇和島病院が施設内禁煙を実施し、吉田病院と併せて2施設となった。津島病院については、平成22年末まで施設内及び敷地内における指定場所での喫煙を可としている。</p>								
<b>平成22年度実績</b>								
<p>平成23年1月1日から、市立津島病院も敷地内禁煙とし、全市立病院において敷地内禁煙を実施。市立宇和島病院内科において、禁煙外来を開始。患者数40名、禁煙治療終了者28名、禁煙成功者19名。</p>								決算額
								実績値
								<b>2施設</b>
								進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<p>全病院において敷地内禁煙が達成されたため、今後は禁煙外来の推進を図る。市立宇和島病院及び市立津島病院において、平成23年6月から禁煙外来を行う。</p>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
<b>平成23年度予定</b>								
敷地内禁煙の継続実施。禁煙外来の推進。								予算額
								目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
喫煙室(入所者向け)の設置	(介護老人保健施設)病院局			充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
受動喫煙防止対策を図るため、入所者用の喫煙室を設置するもの。								
<b>平成22年度実績</b>								
2施設とも、入所者のみを対象とした既存の喫煙室を継続使用。							決算額	
							実績値	
							進捗状況	
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
喫煙室を利用する際に、マナーが守られないケースがある。								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
<b>平成23年度予定</b>								
喫煙室に於ける通所利用者と入所者の喫煙マナーの指導。(受動喫煙防止と火災予防の観点から)							予算額	
							目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																																				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規																																																		
母親学級・両親学級	保険健康課	5コース		充実		継続	新規																																																	
<b>事業の概要</b>																																																								
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。																																																								
<b>平成22年度実績</b>																																																								
<b>【マタニティスクール、マタニティクッキング、パパママスクール】</b> <b>(対象)</b> 【マタニティスクール】 宇和島市に居住地を有する妊婦 【パパママスクール・マタニティクッキング】 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者  <b>(場所・回数)</b> 宇和島保健センター(年3回コース) 三間保健福祉センター(パパママスクールのみ年2回)  <b>(内容)</b>							<b>決算額</b>																																																	
							<b>9千円</b>																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内 容</th> <th>マタニティスクール</th> <th>マタニティクッキング</th> <th colspan="2">パパママスクール</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>全数</th> <th>(再掲)夫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自己紹介</td> <td></td> <td>妊娠中の栄養に</td> <td></td> <td>自己紹介</td> </tr> <tr> <td>妊娠中の生活</td> <td></td> <td>についての講義</td> <td></td> <td>妊娠中と産後のからだの</td> </tr> <tr> <td>妊娠中の歯の手入れ</td> <td></td> <td>調理実習</td> <td></td> <td>変化</td> </tr> <tr> <td>出産への心がまえ</td> <td></td> <td>試食</td> <td></td> <td>お父さんの妊婦体験</td> </tr> <tr> <td>座談会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>赤ちゃんのお風呂の入</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>れ方(沐浴実習)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>家族計画について</td> </tr> <tr> <td><b>従事者</b></td> <td>保健師</td> <td>栄養士・保健師</td> <td colspan="2">保健師</td> </tr> </tbody> </table>							内 容	マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール				全数	(再掲)夫	自己紹介		妊娠中の栄養に		自己紹介	妊娠中の生活		についての講義		妊娠中と産後のからだの	妊娠中の歯の手入れ		調理実習		変化	出産への心がまえ		試食		お父さんの妊婦体験	座談会				赤ちゃんのお風呂の入					れ方(沐浴実習)					家族計画について	<b>従事者</b>	保健師	栄養士・保健師	保健師		<b>実績値</b>
内 容	マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール																																																					
			全数	(再掲)夫																																																				
自己紹介		妊娠中の栄養に		自己紹介																																																				
妊娠中の生活		についての講義		妊娠中と産後のからだの																																																				
妊娠中の歯の手入れ		調理実習		変化																																																				
出産への心がまえ		試食		お父さんの妊婦体験																																																				
座談会				赤ちゃんのお風呂の入																																																				
				れ方(沐浴実習)																																																				
				家族計画について																																																				
<b>従事者</b>	保健師	栄養士・保健師	保健師																																																					
							<b>5コース</b>																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">マタニティ スクール</th> <th colspan="2">マタニティクッキング</th> <th colspan="2">パパママスクール</th> </tr> <tr> <th>全数</th> <th>(再掲)夫</th> <th>全数</th> <th>(再掲)夫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>76</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>88</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>								マタニティ スクール	マタニティクッキング		パパママスクール		全数	(再掲)夫	全数	(再掲)夫	宇和島地区	11	17	6	76	38	三間地区				12	6	計	11	17	6	88	44	<b>進捗状況</b>																					
	マタニティ スクール	マタニティクッキング		パパママスクール																																																				
		全数	(再掲)夫	全数	(再掲)夫																																																			
宇和島地区	11	17	6	76	38																																																			
三間地区				12	6																																																			
計	11	17	6	88	44																																																			
							<b>4</b>																																																	
<b>事業に対する評価・課題等</b>																																																								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッキングは日曜開催を増やしたことで、夫の参加が増えた。</li> <li>・パパママスクールは参加者が多いが、マタニティスクール・クッキングは参加者が少ない。夫婦での参加の方が参加しやすいという意見もあり、今後、教室の持ち方・内容等の検討が必要と思われる。</li> </ul>																																																								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>																																																								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4																																																	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4																																																	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4																																																	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4																																																	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3																																																	
<b>平成23年度予定</b>																																																								
参加者の少ない三間開催のパパママスクールは中止とし、宇和島保健センターで夜間開催のパパママスクールを実施する。							<b>予算額</b>																																																	
							<b>10千円</b>																																																	
							<b>目標値</b>																																																	
							<b>3コース</b>																																																	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																																																					
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規																																																																			
妊産婦相談	保険健康課	48回		充実		継続		新規																																																																	
<b>事業の概要</b>																																																																									
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。																																																																									
<b>平成22年度実績</b>																																																																									
(対象) 宇和島市に住民登録をしている妊産婦 (場所・回数) 〔定例妊産婦相談〕 宇和島保健センター、吉田公民館 三間保健福祉センター、津島保健センター 各12回/年 *育児相談と同時開催 〔随時妊産婦相談〕 集会所や公民館、電話等において随時実施。 (内容) 個々の妊産婦に応じた相談 (従事者) 保健師・栄養士	<table border="1"> <thead> <tr> <th>妊婦</th> <th>回数</th> <th>相談者数(実)</th> <th>相談者数(延)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>吉田地区</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>津島地区</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>48</td> <td>15</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>		妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	宇和島地区	12	1	1	吉田地区	12	9	22	三間地区	12	2	3	津島地区	12	3	4	計	48	15	30	<table border="1"> <thead> <tr> <th>産婦</th> <th>回数</th> <th>相談者数(実)</th> <th>相談者数(延)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>吉田地区</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>津島地区</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>48</td> <td>25</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>		産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	宇和島地区	12	11	33	吉田地区	12	1	1	三間地区	12	12	13	津島地区	12	1	1	計	48	25	48	<table border="1"> <thead> <tr> <th>妊婦</th> <th colspan="2">人数</th> <th>産婦</th> <th colspan="2">人数</th> </tr> <tr> <td></td> <th>来所等</th> <th>電話相談</th> <td></td> <th>来所等</th> <th>電話相談</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全地区</td> <td>17</td> <td>221</td> <td>全地区</td> <td>5</td> <td>272</td> </tr> </tbody> </table>		妊婦	人数		産婦	人数			来所等	電話相談		来所等	電話相談	全地区	17	221	全地区	5	272	<b>決算額</b> <b>0千円</b> <b>実績値</b> <b>48回</b> <b>進捗状況</b>
	妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)																																																																					
	宇和島地区	12	1	1																																																																					
	吉田地区	12	9	22																																																																					
	三間地区	12	2	3																																																																					
津島地区	12	3	4																																																																						
計	48	15	30																																																																						
産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)																																																																						
宇和島地区	12	11	33																																																																						
吉田地区	12	1	1																																																																						
三間地区	12	12	13																																																																						
津島地区	12	1	1																																																																						
計	48	25	48																																																																						
妊婦	人数		産婦	人数																																																																					
	来所等	電話相談		来所等	電話相談																																																																				
全地区	17	221	全地区	5	272																																																																				
<b>事業に対する評価・課題等</b>																																																																									
・妊婦相談は、母子健康手帳交付時相談が主で、定例日相談者数は少ない。 ・チラシを見ての参加は少ない。気軽に来所してもらえるよう周知が必要。																																																																									
<b>男女共同参画の視点での評価</b>																																																																									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか																																																																									
性別による固定的な役割分担等が行われていないか																																																																									
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか																																																																									
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか																																																																									
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか																																																																									
<b>平成23年度予定</b>																																																																									
・母子健康手帳交付時に妊婦相談を勧奨する。																																																																									
<b>予算額</b>																																																																									
<b>0千円</b>																																																																									
<b>目標値</b>																																																																									
<b>48回</b>																																																																									

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-



<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																																																			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規																																																																	
妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	80,9%	14回/人 (100%)	充実		継続	新規																																																																
<b>事業の概要</b>																																																																							
母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または、一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。																																																																							
<b>平成22年度実績</b>																																																																							
<p>・平成20年度から、妊娠期を通して公費負担回数を5回に加えて9回計14回(一人当たり公費負担59,560円)に拡充して実施、継続。          ・妊婦一般健康診査受診票の5回分と9回分を母子健康手帳と同時に交付、綴りの中に利用の目安(一覧表)を添付し適切な受診、利用を勧めた。          ・県外里帰り妊婦に対する妊婦健診の費用助成についても、健診受診票交付時に説明し手続きが確実にできるよう周知した。</p>						<b>決算額</b>																																																																	
5枚綴り分						9枚綴り分																																																																	
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付数</th> <th>受診数</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>540</td><td>539</td><td>99.8%</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>548</td><td>424</td><td>77.4%</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>556</td><td>492</td><td>88.5%</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>562</td><td>517</td><td>92.0%</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>565</td><td>444</td><td>78.6%</td></tr> </tbody> </table>							交付数	受診数	受診率(%)	1回目	540	539	99.8%	2回目	548	424	77.4%	3回目	556	492	88.5%	4回目	562	517	92.0%	5回目	565	444	78.6%	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付数</th> <th>受診数</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>545</td><td>551</td><td>101.1%</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>554</td><td>574</td><td>103.6%</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>561</td><td>547</td><td>97.5%</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>562</td><td>524</td><td>93.2%</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>564</td><td>502</td><td>89.0%</td></tr> <tr><td>6回目</td><td>565</td><td>454</td><td>80.4%</td></tr> <tr><td>7回目</td><td>565</td><td>373</td><td>66.0%</td></tr> <tr><td>8回目</td><td>565</td><td>284</td><td>50.3%</td></tr> <tr><td>9回目</td><td>564</td><td>193</td><td>34.2%</td></tr> </tbody> </table>			交付数	受診数	受診率(%)	1回目	545	551	101.1%	2回目	554	574	103.6%	3回目	561	547	97.5%	4回目	562	524	93.2%	5回目	564	502	89.0%	6回目	565	454	80.4%	7回目	565	373	66.0%	8回目	565	284	50.3%	9回目	564	193	34.2%
	交付数	受診数	受診率(%)																																																																				
1回目	540	539	99.8%																																																																				
2回目	548	424	77.4%																																																																				
3回目	556	492	88.5%																																																																				
4回目	562	517	92.0%																																																																				
5回目	565	444	78.6%																																																																				
	交付数	受診数	受診率(%)																																																																				
1回目	545	551	101.1%																																																																				
2回目	554	574	103.6%																																																																				
3回目	561	547	97.5%																																																																				
4回目	562	524	93.2%																																																																				
5回目	564	502	89.0%																																																																				
6回目	565	454	80.4%																																																																				
7回目	565	373	66.0%																																																																				
8回目	565	284	50.3%																																																																				
9回目	564	193	34.2%																																																																				
						<b>29,532千円</b>																																																																	
						<b>実績値</b>																																																																	
						<b>82.30%</b>																																																																	
						<b>進捗状況</b>																																																																	
						<b>3</b>																																																																	
<b>事業に対する評価・課題等</b>																																																																							
<p>・定期的に妊婦健診を受診している人は98,4%で、経済的な負担を減らすことは、妊娠期の健康管理に良い影響を及ぼしている。          ・前年度同様、5回分と9回分(拡充分)受診票交付した。7回目以降は出産による未使用の人数があり受診率は低くなっているが、継続して妊婦健診を受けることで、健康診査の結果貧血及び高血圧症候群の割合が減少している。          ・国の補助事業で継続については担保できない状況にあるが、健診の機会が増えるに従い、健康管理につながっているため、適切に健診の機会が提供できるように努めたい。</p>																																																																							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>																																																																							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか																																																																							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか																																																																							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか																																																																							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか																																																																							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか																																																																							
<b>平成23年度予定</b>																																																																							
<p>・H22年度同様に5回分、9回分(基金継続)の受診票を交付、適切な時期に健診を受け、妊娠期の健康管理に役立つ。          ・TLV-1抗体検査、クラミジア感染症検査を導入する。          ・健診によりフォローとなった妊婦については、確実にフォローを行う。</p>						<b>予算額</b>																																																																	
						<b>33,496千円</b>																																																																	
						<b>目標値</b>																																																																	
						<b>100%</b>																																																																	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																							
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規																																					
母親学級・両親学級	保険健康課	5コース		充実		継続	新規																																				
<b>事業の概要</b>																																											
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。																																											
<b>平成22年度実績</b>																																											
【マタニティスクール、マタニティクッキング、パパママスクール】 (対象) (マタニティスクール) 宇和島市に居住地を有する妊婦 (パパママスクール・マタニティクッキング) 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者  (場所・回数) 宇和島保健センター(年3回コース) 三間保健福祉センター(パパママスクールのみ年2回)  (内容)							<b>決算額</b>																																				
							<b>9千円</b>																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内 容</th> <th>マタニティスクール</th> <th>マタニティクッキング</th> <th>パパママスクール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自己紹介</td> <td>妊娠中の栄養に</td> <td>自己紹介</td> <td></td> </tr> <tr> <td>妊娠中の生活</td> <td>についての講義</td> <td>妊娠中と産後のからだの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>妊娠中の歯の手入れ</td> <td>調理実習</td> <td>変化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出産への心がまえ</td> <td>試食</td> <td>お父さんの妊婦体験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>座談会</td> <td></td> <td>赤ちゃんのお風呂の入</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>れ方(沐浴実習)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>家族計画について</td> <td></td> </tr> <tr> <td>従事者</td> <td>保健師</td> <td>栄養士・保健師</td> <td>保健師</td> </tr> </tbody> </table>							内 容	マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール	自己紹介	妊娠中の栄養に	自己紹介		妊娠中の生活	についての講義	妊娠中と産後のからだの		妊娠中の歯の手入れ	調理実習	変化		出産への心がまえ	試食	お父さんの妊婦体験		座談会		赤ちゃんのお風呂の入				れ方(沐浴実習)				家族計画について		従事者	保健師	栄養士・保健師	保健師	<b>実績値</b>
内 容	マタニティスクール	マタニティクッキング	パパママスクール																																								
	自己紹介	妊娠中の栄養に	自己紹介																																								
妊娠中の生活	についての講義	妊娠中と産後のからだの																																									
妊娠中の歯の手入れ	調理実習	変化																																									
出産への心がまえ	試食	お父さんの妊婦体験																																									
座談会		赤ちゃんのお風呂の入																																									
		れ方(沐浴実習)																																									
		家族計画について																																									
従事者	保健師	栄養士・保健師	保健師																																								
							<b>5コース</b>																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">マタニティ スクール</th> <th colspan="2">マタニティクッキング</th> <th colspan="2">パパママスクール</th> </tr> <tr> <th>全数</th> <th>(再掲)夫</th> <th>全数</th> <th>(再掲)夫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>76</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>88</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>								マタニティ スクール	マタニティクッキング		パパママスクール		全数	(再掲)夫	全数	(再掲)夫	宇和島地区	11	17	6	76	38	三間地区				12	6	計	11	17	6	88	44	<b>進捗状況</b>								
	マタニティ スクール	マタニティクッキング		パパママスクール																																							
		全数	(再掲)夫	全数	(再掲)夫																																						
宇和島地区	11	17	6	76	38																																						
三間地区				12	6																																						
計	11	17	6	88	44																																						
							<b>4</b>																																				
<b>事業に対する評価・課題等</b>																																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講率が低いため、母子健康手帳交付時に受講勧奨する。特に、初産婦には勧める。</li> <li>・クッキングは日曜開催を増やしたことで、夫の参加が増えた。</li> <li>・パパママスクールは参加者が多いが、マタニティスクール・クッキングは参加者が少ない。夫婦での参加の方が参加しやすいという意見もあり、今後、教室の持ち方・内容等の検討が必要と思われる。</li> </ul>																																											
<b>男女共同参画の視点での評価</b>																																											
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							<b>4</b>																																				
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							<b>4</b>																																				
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							<b>4</b>																																				
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							<b>4</b>																																				
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							<b>3</b>																																				
<b>平成23年度予定</b>																																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の少ない三間開催のパパママスクールは中止とし、宇和島保健センターで夜間開催のパパママスクールを実施する。</li> <li>・使用しているテキストが作成から数年経過しており、内容の検討を行い、改正する。</li> </ul>							<b>予算額</b>																																				
							<b>10千円</b>																																				
							<b>目標値</b>																																				
							<b>3コース</b>																																				

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	1. 市民の健康づくり支援
<b>具体的施策</b>	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
妊産婦相談	保険健康課	48回		充実		継続	新規

**事業の概要**

妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。

**平成22年度実績**

<b>(対象)</b> 宇和島市に住民登録をしている妊産婦  <b>(場所・回数)</b> [定例妊産婦相談] 宇和島保健センター、吉田公民館 三間保健福祉センター、津島保健センター 各12回/年 *育児相談と同時開催 [随時妊産婦相談] 集会所や公民館、電話等において随時実施。  <b>(内容)</b> 個々の妊産婦に応じた相談  <b>(従事者)</b> 保健師・栄養士	<table border="1"> <tr> <th>妊婦</th> <th>回数</th> <th>相談者数(実)</th> <th>相談者数(延)</th> </tr> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>吉田地区</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>津島地区</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>48</td> <td>15</td> <td>30</td> </tr> </table>	妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	宇和島地区	12	1	1	吉田地区	12	9	22	三間地区	12	2	3	津島地区	12	3	4	計	48	15	30	<table border="1"> <tr> <th>産婦</th> <th>回数</th> <th>相談者数(実)</th> <th>相談者数(延)</th> </tr> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>吉田地区</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>津島地区</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>48</td> <td>25</td> <td>48</td> </tr> </table>	産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	宇和島地区	12	11	33	吉田地区	12	1	1	三間地区	12	12	13	津島地区	12	1	1	計	48	25	48	<table border="1"> <tr> <th>妊婦</th> <th colspan="2">人数</th> <th>産婦</th> <th colspan="2">人数</th> </tr> <tr> <td></td> <th>来所等</th> <th>電話相談</th> <td></td> <th>来所等</th> <th>電話相談</th> </tr> <tr> <td>全地区</td> <td>17</td> <td>221</td> <td>全地区</td> <td>5</td> <td>272</td> </tr> </table>	妊婦	人数		産婦	人数			来所等	電話相談		来所等	電話相談	全地区	17	221	全地区	5	272	<b>決算額</b>  <b>0千円</b>  <b>実績値</b>  <b>48回</b>  <b>進捗状況</b>
	妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)																																																																		
	宇和島地区	12	1	1																																																																		
	吉田地区	12	9	22																																																																		
	三間地区	12	2	3																																																																		
津島地区	12	3	4																																																																			
計	48	15	30																																																																			
産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)																																																																			
宇和島地区	12	11	33																																																																			
吉田地区	12	1	1																																																																			
三間地区	12	12	13																																																																			
津島地区	12	1	1																																																																			
計	48	25	48																																																																			
妊婦	人数		産婦	人数																																																																		
	来所等	電話相談		来所等	電話相談																																																																	
全地区	17	221	全地区	5	272																																																																	

**事業に対する評価・課題等**

- ・妊婦相談は、母子健康手帳交付時相談が主で、定例日相談者数は少ない。
- ・チラシを見ての参加は少ない。気軽に来所してもらえるよう周知が必要。

**男女共同参画の視点での評価**

- 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか
- 性別による固定的な役割分担等が行われていないか
- 事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか
- 事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか
- 広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか

**平成23年度予定**

・母子健康手帳交付時に妊婦相談を勧奨する。	<b>予算額</b>
	<b>0千円</b>
	<b>目標値</b>

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
母子健康手帳の交付事業	保険健康課	605人		充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。								
<b>平成22年度実績</b>								
(対象)	宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦				妊娠届出数	初産婦数	決算額	
(場所)	本庁及び支所窓口にて交付			宇和島地区	434	171	98千円	
(内容)	母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票交付、保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明			吉田地区	35	11	実績値	
(従事者)	保健師			三間地区	27	8	543人	
				津島地区	47	14	進捗状況	
				計	543	204		
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠、出産、育児に関して不安のある妊婦はやや減少しているが、不安内容を把握し、ニーズにあった情報提供や対策が必要である。</li> <li>・妊娠中の喫煙率が増加しているため、胎児や母体への影響を伝え、より一層禁煙を勧める必要がある。</li> <li>・未入籍者の妊娠届が増加していると思われるため、思春期における性教育が必要と感じる。</li> </ul>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
<b>平成23年度予定</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙習慣のある妊婦及び同居家族を含めた禁煙希望者には禁煙の具体的方法を情報提供する。</li> <li>・妊婦アンケート、赤ちゃん訪問アンケートより妊娠期の歯科検診状況の現状把握を行う。</li> </ul>							予算額	
							94千円	
							目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
安産教室	病院局 (宇和島病院)	29回		充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
妊婦の健康管理の必要性についての啓発や妊娠・出産に関する不安等に対応できる相談を行うもの。								
<b>平成22年度実績</b>								
毎月第1、第3、第4水曜日に実施。(第1水曜日は栄養指導)							決算額	
[栄養指導分] 実施回数 11回 延べ参加者数 36名(外来患者)							実績値	
							35回	
[一般分] 実施回数 24回 延べ参加者数 271名							進捗状況	
							5	
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
定期的に開催しており、また該当者には検診時に案内していることから、初産の方でも気軽に参加することができる。								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
<b>平成23年度予定</b>								
引き続き月3回程度実施予定。							予算額	
							目標値	
							月3回	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
育児学級	病院局 (宇和島病院)	6回		充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。								
<b>平成22年度実績</b>								
毎月第2水曜日に実施。 実施回数 12回 延べ参加者数 45名							決算額	
							実績値	12回
							進捗状況	5
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
定期的に開催しており、また該当者には、検診時に案内しているが、参加者が少ない。								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
<b>平成23年度予定</b>								
引き続き月1回程度実施予定。							予算額	
							目標値	月1回

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
カンガルー学級(母乳育児支援学級)	病院局 (吉田病院)			充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
母乳育児についての相談、座談会を実施するもの。								
<b>平成22年度実績</b>								
平成19年度は2か月に1回実施していたが、20年度以降は実施していない。								決算額
								実績値
								0
								進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
常勤産婦人科医不在(平成21年度分娩件数...0件) 助産師の不足 上記により、当学級は現在開催していない。								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
<b>平成23年度予定</b>								
開催予定なし。								予算額
								目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[8] 生涯スポーツの推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	廃止	新規	
総合型スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課 [スポ振興]			充実		継続	廃止	新規
<b>事業の概要</b>								
年齢や体力に応じた様々な運動やスポーツに「いつでも、どこでも、だれもが」親しむことのできる環境を整備し、市民の健康の維持・増進を目指す総合型スポーツクラブの宇和島AITANスポーツクラブを助長しようとするものである。								
<b>平成22年度実績</b>								
平成21年度より、愛媛女子短期大学が主導するクラブとなり、行政組織並びに市体育協会は組織から離れる。 (平成21年度 廃止)								決算額
								実績値
								進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
<b>平成23年度予定</b>								
平成21年度より、廃止								予算額
								目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-



<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	2. 教育・相談の充実
<b>具体的施策</b>	[1] HIV / エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値 (H21)	目標値 (H24)	充実	継続	新規	
HIV / エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課			充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>国内のHIV感染者・エイズ患者の新規報告数は、平成16年に1,000件を突破した後、毎年1,000件を超える状態が続いている。20年は1,557人と過去最高となり、21年は1,428人(速報値)と前年からは減少したが、依然高い値を示している。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要があり、愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するほか、健康教育において感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>愛媛県内の保健所が実施する定期相談に加え、「愛媛HIV検査普及週間(6月1日～7日)」に実施される定期外(休日・夜間等)の相談・検査について、ポスターの貼付等により、広く市民に周知した。また、世界エイズデーに呼応して定められた「愛媛エイズ予防週間(12月1日～7日)」に実施される相談・検査についても、ポスターの掲示や市広報誌への掲載等により、広く市民に周知した。</p> <p>また、ひとり暮らしサポート講座及び、ひとり暮らしサポート出前講座(希望する高校で実施)において、ひとり立ち前の高校3年生に対し、HIV/エイズ、性感染症に対する情報提供を行った。</p>							決算額
							0千円
							実績値
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>県内の患者・感染者の発生は、平成12年以降年間6件程度で推移し、平成19年には過去最高の11件が報告された。その後、平成21年は2件と減少したが、平成22年は再び6件、平成23年は、5月24日現在で既に6件の報告があるという状況から、正しい知識の普及等、啓発活動を推進するとともに、感染への不安がある場合の早期受診に加え、エイズへの誤解・偏見のない環境を作る必要がある。</p> <p>市においては、愛媛県内の保健所が実施する相談・検査事業の周知及び、正しい知識の啓発活動について引き続き協力体制を継続するとともに、高校生の若い世代を対象に積極的な普及・啓発活動を推進していく。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成23年度予定</b>							
<p>・保健所実施の相談事業などの周知に対する協力。 ・ひとり暮らしサポート講座における高校3年生に対する健康教育の実施。</p>							予算額
							0千円
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	2. 教育・相談の充実
<b>具体的施策</b>	[1] HIV / エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値 (H21)	目標値 (H24)				
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	78%	100%	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。 性に関する指導の充実。 「心身ともに健康な子」の育成。 学校での児童が、発達段階に応じた知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>保健の時間に、エイズに関する学習を行った。 保健領域において発達段階に応じた指導を行った。 児童用図書として、エイズ関係の本を置き、児童が手に取って読むことができるようにした。 年間指導計画に従って、発達段階に応じた性教育を実施した。 人権教育の視点では、「一人一人を尊重し、あらゆる偏見や差別は許されない」児童の育成に努めた。</p>							決算額
							実績値
							79%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>正しい知識を学ぶことができた。 保護者への啓発や連携が課題である。 メディアを通じて入ってくる情報との整合性を図る必要がある。 正しい知識を指導できたと思うが、児童には、現実のこととして認識させづらい。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
<p>HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。 性に関する指導の充実。 保健便りを通じて、保護者に啓発してゆく。 人権同和教育学習において、性教育を実施し、性に対する正しい知識や認識を持ち、自他の性や命を大切に 態度を養う。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	2. 教育・相談の充実
<b>具体的施策</b>	[2] 発達段階に応じた生命と人権を大切にする性教育の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)				
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	83%	100%	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき自分自身を大切に、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。 心身ともに健康な子の育成。 児童生徒の発達段階を踏まえて、保護者や市民の理解を得ながら、行き過ぎた内容とならないように適切に指導する。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>各教科の年間計画の中に位置づけ、計画的に指導した。 生徒、児童の実態に応じた基本的な生活習慣の定着を図った。 生命誕生の仕組みを知り、一人一人かけがえのない存在であることを理解させるよう努めた。 大学教授を迎え思春期教室を実施した。</p>							決算額
							実績値
							85%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>各学年の発達段階に応じた指導や考え方の育成が必要であるので、それぞれの学年の目標を定める必要がある。 学習したことが、普段の生活の中で実践できるようにしていく必要がある。 家庭と連携した性に関する指導を行う必要がある。 発達段階に応じた指導を実施しているが、家庭環境や個人差もあり一律の指導は難しいと考える。 間違った情報や過度の情報に惑わされることの無いように、自分で正しい判断ができるよう指導しなければならない。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
<p>各学年、各教科で、それぞれの学年に合わせた目標を設定する。 参観日における性教育の公開授業を行う。 性に関する指導を年間指導計画の中に位置付け、各学年の発達段階に応じた指導を実施する。 養護教諭と担任による授業や、保健集会を計画的に実施する。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	3 保健・医療体制の整備
<b>具体的施策</b>	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)				
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法・H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	14.4%	65%	充実		継続	新規

**事業の概要**

糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とし、内臓脂肪症候群の該当者及び予備群を減少させるために行う特定保健指導を要する者を、的確に抽出するため健診を実施する。

**平成22年度実績**

	健診区分	回数	対象者	受診者数(人)		計(人)	受診率	決算額
				該当者	非該当者			24,100千円
				特定健診	集団			63
	個別		971	19	18.2%			
後期高齢者健診	集団	63	15,259	574	0	627	4.1%	18.2%
	個別			53	0			
その他の健診	集団	63		5		5		進捗状況
	個別			0				4

**事業に対する評価・課題等**

昨年に比べ若干の受診率向上がみられた。未受診者に対する受診勧奨(国保世帯への勧奨通知・新聞折込広告・未受診者への受診券送付等)に力を入れた効果であると考え、特に個別健診の受診率向上が顕著であったため、今後も個別健診の内容充実に力を入れたい。

一方で、特に受診して欲しい働き盛りの年代の、健診に対する意識の低さはあまり変化がみられない。若い時期からの生活習慣病予防が大切であるため、対象を絞り効果的な受診勧奨を進めて行くことの重要性を感じている。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

**平成23年度予定**

特定健診についての周知徹底 ・地区に応じた受診勧奨対策(健康教育・ポスター掲示等)を計画的に実施する。 ・メディア(ケーブルテレビ・新聞折込等)を利用した健診PRを行う。 ・40歳に受診券を同封した受診勧奨通知を行う。 ・事業主健診・複数年未受診者へのアプローチを行う。 魅力ある特定健診の設定 ・集団健診:がん検診とのセット健診や、休日健診を実施する。 ・個別健診:検査内容に腎機能を図る尿酸を市独自で追加実施する。	予算額
	34,831千円
	目標値
	20%

**平成22年度実績の進捗状況**

かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

**男女共同参画の視点での評価**

十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	10.8%		充実		継続	新規

事業の概要	
<p>がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん予防重点健康教育及びがん検診の実施に            関し必要な事項を定め、がんの予防及び早期発見に推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させる。</p> <p>&lt;対象&gt; 胃がん・肺がん・大腸がん検診:40歳以上の者            子宮がん検診:20歳以上の女性            乳がん検診:40歳以上の女性            前立腺がん検診:40歳以上の男性</p>	

平成22年度実績				
がん検診別受診状況	胃がん検診(胃カメラ)受診数:633人は含まず。		集団検診実施回数	決算額
	受診者(人)	受診率(%)	回数	57,721千円
胃がん	2,931	8.7	胃がん	実績値
肺CTがん	971	2.9	肺CTがん	12.41%
肺CRがん	3,256	9.6	肺CRがん	
大腸がん	4,217	12.5	大腸がん	進捗状況
前立腺がん	1,586	12.0	前立腺がん	5
子宮頸がん	3,229	19.6	子宮頸がん	
乳がん	3,138	21.6	乳がん	

事業に対する評価・課題等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのがん検診において受診者が増加した。</li> <li>・子宮頸がん・乳がんについては、地区組織への健康教育や乳幼児健診での若い母親への受診勧奨を行った。無料クーポン券やピンクリボンの普及活動により検診が若い世代にも身近になったと考える。</li> </ul>	

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成23年度予定	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末年齢40歳からが対象となる検診が殆どであることから、自己負担無料の検診を設定する。(胃・肺CR・大腸)</li> <li>・1日で全てのがん検診を受けられる日を設定する。</li> <li>・地区に応じた受診日程を設定する。(休日を含む全曜日で実施)</li> <li>・乳幼児健診や子育て支援事業等で子宮頸がん検診の受診勧奨を行う。</li> <li>・がん予防月間と合わせてパネル展示やケーブルテレビによるPRを行う。</li> </ul>	予算額
	56,542千円
	目標値
	50%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 .保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	44自治会	30自治会	充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。								
<b>平成22年度実績</b>								
集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 73自治会を対象に、57回実施。出席者数1,105人。								決算額
								実績値
								<b>73自治会</b>
								進捗状況
<b>5</b>								
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
地域住民に大変好評で、これからの地域医療及び僻地の自治体病院経営を考える上で重要である。								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								<b>5</b>
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								<b>5</b>
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								<b>5</b>
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								<b>5</b>
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								<b>5</b>
<b>平成23年度予定</b>								
昨年と同様に、各自治会で医療懇談会を開催していく。								予算額
								目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	3 . 保健・医療体制の整備
<b>具体的施策</b>	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値 (H21)	目標値 (H24)	充実	継続	新規	
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)			充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指して機能している。</p> <p>専門的ながん医療の提供を行う。 地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>新病院開院後「外来化学療法室」が設置され、従来各科の外来処置室で行っていた通院による化学療法について、専用のエリアで実施している。 セカンドオピニオン外来(木曜日・午後、事前予約制)を設けることにより、患者が他施設で受けた診断や治療法について、従来よりも相談しやすい体制を整えている。 医療福祉相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がんの治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面接相談(訪問等を含む) 654件 電話相談 256件 年3回の市民公開講座、院外の医師を招いての治療セミナー、医療スタッフの研修会を行った。 愛媛県がん診療連携協議会「緩和ケア研修会」を実施し、関係医療機関相互の連携を図った。</p>							決算額
							12,013千円
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>退院、転院調整や在宅ケアに関する相談など個々の患者に応じたがん治療支援が実施できた。また、市民を対象とした講演会等も開催して多くの参加を得ることができ、がん拠点病院からの情報発信を行うことができた。 年々がんに関する情報が専門化しており、患者及びスタッフのスキルアップが必要である。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
<b>平成23年度予定</b>							
継続し、ニーズに応える内容の充実を図る。							予算額
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)			充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。								
<b>平成22年度実績</b>								
新病院の開院に伴って施設面でも改善され、ドックエリアには、2日ドック用にバス・トイレ付きの個室8室を完備するとともに、専用の内科診察室、検査の合間や食事の際に利用可能なラウンジを設けるなど、受診者の利便性も向上している。また、2日ドック対象者については、個別に健康管理指導を行っている。 【ドック受診者】 1日ドック：860名 2日ドック：654名 脳ドック内数：98名 受診者数計：1,612名(男性 803名、女性 809名)								決算額
								-
								実績値
								<b>左記のとおり</b>
								進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
ドック最終日に集団指導を実施し、個人個人にあった健康管理に役立っている。各種検査や診察を通常の外来診療に組み込んで実施しているため、人員体制、設備的な側面から1日あたりの受け入れ人数を増員できない現状がある。								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
<b>平成23年度予定</b>								
継続実施								予算額
								目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-



<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[2] がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	10.8%		充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
<p>がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん予防重点健康教育及びがん検診の実施に関し必要な事項を定め、がんの予防及び早期発見に推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させる。</p> <p>&lt;対象&gt; 胃がん・肺がん・大腸がん検診:40歳以上の者 子宮がん検診:20歳以上の女性 乳がん検診:40歳以上の女性 前立腺がん検診:40歳以上の男性</p>								
<b>平成22年度実績</b>								
がん検診別受診状況			胃がん検診(胃カメラ)受診数:633人は含まず。			集団検診実施回数		決算額
	受診者(人)	受診率(%)			回数			実績値
胃がん	2,931	8.7			胃がん	62		12.41%
肺CTがん	971	2.9			肺CTがん	14		
肺CRがん	3,256	9.6			肺CRがん	57		
大腸がん	4,217	12.5			大腸がん	74		
前立腺がん	1,586	12.0			前立腺がん	62		進捗状況
子宮頸がん	3,229	19.6			子宮頸がん	56		
乳がん	3,138	21.6			乳がん	45		5
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのがん検診において受診者が増加した。</li> <li>・子宮頸がん・乳がんについては、地区組織への健康教育や乳幼児健診での若い母親への受診勧奨を行った。無料クーポン券やピンクリボンの普及活動により検診が若い世代にも身近になったと考える。</li> </ul>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
<b>平成23年度予定</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末年齢40歳からが対象となる検診が殆どであることから、自己負担無料の検診を設定する。(胃・肺CR・大腸)</li> <li>・1日で全てのがん検診を受けられる日を設定する。</li> <li>・地区に応じた受診日程を設定する。(休日を含む全曜日で実施)</li> <li>・乳幼児健診や子育て支援事業等で子宮頸がん検診の受診勧奨を行う。</li> <li>・がん予防月間と合わせてパネル展示やケーブルテレビによるPRを行う。</li> </ul>							予算額	
							目標値	
							50%	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	3 . 保健・医療体制の整備
<b>具体的施策</b>	[2] がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)			充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指して機能している。</p> <p>専門的ながん医療の提供を行う。 地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>新病院開院後「外来化学療法室」が設置され、従来各科の外来処置室で行っていた通院による化学療法について、専用のエリアで実施している。 セカンドオピニオン外来(木曜日・午後、事前予約制)を設けることにより、患者が他施設で受けた診断や治療法について、従来よりも相談しやすい体制を整えている。 医療福祉相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がんの治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面接相談(訪問等を含む) 654件 電話相談 256件 年3回の市民公開講座、院外の医師を招いての治療セミナー、医療スタッフの研修会を行った。 愛媛県がん診療連携協議会「緩和ケア研修会」を実施し、関係医療機関相互の連携を図った。</p>							決算額
							12,013千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>退院、転院調整や在宅ケアに関する相談など個々の患者に応じたがん治療支援が実施できた。また、市民を対象とした講演会等も開催して多くの参加を得ることができ、がん拠点病院からの情報発信を行うことができた。 年々がんに関する情報が専門化しており、患者及びスタッフのスキルアップが必要である。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
<b>平成23年度予定</b>							
継続し、ニーズに応える内容の充実を図る。							予算額
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	3 保健・医療体制の整備
<b>具体的施策</b>	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりに寄与する。          現在、医師(所長)は5名体制であり、各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させる。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>平成22年7月、遊子診療所に医師が赴任したことにより、9施設4医師体制が9施設5医師体制となった。          それに伴い、蔦淵診療所長の遊子・下波診療所兼任管理を解き、遊子診療所長が下波診療所を兼任管理することとなった。          診療日数も増加し、蔦淵診療所は週5日体制を確保、遊子診療所は週2日 週4日へ(月は午前、金は午後のみ)、下波診療所は週0.5日 週1日へ(月は午後、金は午前のみ)と、従来から充実することとなった。          なお、戸島診療所長の嘉島診療所兼任管理、日振島診療所長の喜路・能登出張所兼任管理は、平成22年度においても従来の体制を維持している。</p>							決算額
							実績値
							<b>9施設5医師</b>
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>全国的に医師数が不足している中で、宇和島市においても市立吉田病院、市立津島病院が医師募集を行っており、診療所としても非常に厳しい現状にある。募集条件(給与の増額など)を変更することは財政上厳しく、現状維持での募集が精一杯の状況である。          現在、診療所の必要医師数は確保できているが、勤務地の情報(地域、診療所、設備、行政等との連携)を広く周知するなど、継続して情報発信する必要がある。また、赴任後の診療所・医師へのサポートを含め、長期間安定して勤務できる体制を構築することも今後の課題の一つである。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
<p>地域住民への医療提供体制を維持するため、平成23年度においても現在の9施設5医師体制を維持する必要がある。よって、診療所・医師へのサポートを充実させ、長期間安定した診療体制の維持を図る。</p>							予算額
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	3 . 保健・医療体制の整備
<b>具体的施策</b>	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課			充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所で、診療船うわじまの維持管理(運航等)を行っている。この診療船を活用することにより、離島での医師の兼任管理、兼任管理中の緊急搬送等を行い、地域医療の充実を図るとともに、地域住民の生命の安全を確保している。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>平成22年度は、戸島診療所長の嘉島診療所兼任管理で、月曜日、水曜日及び金曜日の午前に運航を実施している。毎年度、定期的に年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行なっている。</p>							決算額
							4,817千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所はへき地・離島に設置してあるため、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動に民間交通機関が利用できないため、公用車・診療船による兼任管理を実施する必要がある。特に離島においては、定期連絡船の運航数、運航時間、台風災害時等の運行停止等があり、診療船の果たす役割は非常に大きなものがある。</p> <p>現在は、下波(柿の浦)から出航し、戸島と嘉島の医師兼務の移送を行っているが、今後の医師の配置状況によっては、運航区間の変更が考えられる。そのため、診療所長との協力体制の確立と診療船の効率運用により、地域医療の安定的な提供に努める必要がある。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
<p>現在のところ、診療所長の異動がないため、昨年度と同様に兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックを実施する。</p> <p>医師の異動により、診療日程の変更、兼任管理の変更を伴えば、適宜、実情に即して対応する。</p>							予算額
							5,149千円
							目標値
							-

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値 (H21)	目標値 (H24)	充実	継続	新規	
病院と診療所の連携強化	保険健康課			充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>診療所による「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介・入院した患者を、診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。</p> <p>診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)</p>							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							3
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>それぞれの事例により対応等は異なるが、</p> <p>離島においては、患者の移送手段が限定されてしまう。</p> <p>診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合がある。</p> <p>診療所医師不在時に患者への対応ができない場合がある。</p> <p>などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
前年度と同様。							予算額
							0千円
							目標値
							-

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 生涯を通じた健康支援
<b>施策の方向</b>	3. 保健・医療体制の整備
<b>具体的施策</b>	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H21)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
病院と診療所の連携強化	病院局			充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化するとともに、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察・治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。</p>							
<b>平成22年度実績</b>							
<p>「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介で入院した患者を診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。診療所を含むオープン病床の利用者数は518名、延在院患者数6,338名、来院回診数479回。</p> <p>診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)</p>							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>それぞれの事例により対応等は異なるが、</p> <p>離島においては、患者の移送手段が限定されてしまうこと。</p> <p>診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合があること。</p> <p>診療所医師不在時に患者への対応ができない場合があること。</p> <p>などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成23年度予定</b>							
継続実施							予算額
							目標値

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり</b>
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H21)	目標値 (H24)	充実	継続	新規		
ヘリポートの設置	病院局 (宇和島病院)	1施設 (搬送件数3件)	1施設	充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
<p>災害拠点病院として、災害時等の緊急搬送ができるよう屋上ヘリポートを設置しており、発着回数等から推測して、飛行場外離着陸場の位置づけで運用している。設備的には、初めて着陸するパイロットにも見やすさと安心感を与えるため、見やすい角度に照明装置を設置し、上空から目につきやすいカラーリングを施すなど、安全面を考慮したもとなっている。また本体部分は、劣化を抑えるためアルミ化しており、コスト優先ではなく安全面を優先している。なお、運用によっては、離島や山岳地帯からの搬送等も可能であり、県防災航空事務所と連携して訓練等を行い、運航確認をしている。</p>								
<b>平成22年度実績</b>								
<p>救急搬送患者発生時のフローについて、宇和島消防本部、愛媛県防災航空隊と協議を行い確定した。</p> <p>搬送件数3件</p>							決算額	
							実績値	
							1施設 (搬送件数3件)	
							進捗状況	5
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<p>運用フローが決定し、患者搬送も行い、目標は達成したと思われる。</p>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
<b>平成23年度予定</b>								
<p>災害時における運用形態についてマニュアルを再確認する。</p>							予算額	
							目標値	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-